

令和7年7月1日(火)～31日(木)

第75回

“社会を明るくする運動”

福井市推進委員会

多くの皆様のご参加とご支援、ご協力をお願い申し上げます

Time
with Hope

がんばれるのは、どんなときだろう。
踏ん張れるのは、どんなときだろう。

自分を認めてくれるひとと言。
肩をたたく手の温かさ。
遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の存在に気づいたとき、
立ち直れると信じられる。

たとえ時間がかかっても。

進む、希望とともに。

主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE



ごあいさつ

“社会を明るくする運動” 福井市推進委員会委員長 福井市長 西行 茂



“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人たちの更生についての理解を深め、私たちの力で安全・安心な明るい地域社会を築くことを目的とした全国的な運動として昭和26年に始まり、今年で75回を迎えます。長年にわたり、更生保護活動にご尽力いただいております関係者の方々や、市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、昨年3月の北陸新幹線福井開業以降、東京方面とのアクセスが容易になり、様々な人との交流が増え地域社会に賑わいが広がっています。しかし、残念なことに本県における令和6年の刑法犯認知件数は、令和5年に引き続き増加傾向となっています。また、子どもや女性、高齢者などが巻き込まれる事案も依然として多い状況にあります。再犯率も4割を超える状況が続いており、

再犯を防ぐためにも、地域で温かく見守り、受け入れ、社会での孤立を防ぎ、その立ち直りを支えることで、地域社会の一員として、再び歩み出すことができるようにする更生保護の取り組みが、益々重要なものとなっています。

この“社会を明るくする運動”は、更生保護の取り組みを皆様にご提供いただき、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための運動として、関心と理解を寄せていただくよい機会になると考えています。

7月には、強調月間として街頭キャンペーンの開催など様々な啓発活動を実施しています。これらの活動を通して、一人でも多くの皆様に参加していただき、誰一人取り残さない地域共生社会が実現しますことを心から祈念し挨拶いたします。